
学術認証フェデレーションへの参加

総合情報処理センター 正木 忠良

1. 学術認証フェデレーションとは

学術認証フェデレーション（以下「学認」という）とは、国立情報学研究所や大学、出版社等で構成された連合体で、学認で定めた規程を信頼しあうことで相互に認証連携を行うことが可能になります。秋田大学では今年度から学認参加へ向けて作業を行ってきました。

2. 参加することで

大学で契約済みの電子ジャーナルなどの Web サービスが学認に参加していた場合、大学の発行した ID/パスワードで自宅や出張先から利用できるようになります。

また、認証連携には Shibboleth と呼ばれる技術が使われており、Web サービスへのシングル・サイン・オン（SSO）機能が備わっています。これにより学外 Web サービスの利用しやすさを向上させるだけでなく、学内の各 Web サービスを Shibboleth 対応させることで、1 度認証を行うだけで異なるサービスを利用できるようにすることが可能になります。

3. 利用可能なサービス

秋田大学では以下の電子ジャーナルを学外から閲覧可能になる予定です。

- Scopus
- ScienceDirect
- SpringerLink
- Wiley Online Library
- Oxford Online Journal
- Oxford Journals Archive
- Nature Online
- JCR/EndNote Basic
- CiNii Articles

4. 利用の流れ

利用するための画面は Web サービスごとに異なりますが、おおまかな流れを紹介します。

1. ログイン方法を選択します

2. 所属機関のグループを選択します。選択するとグループに所属する機関の一覧が表示されますので、秋田大学をクリックします。

3. 秋田大学の認証ページにジャンプしますので、AU アカウント（AU-CIS にログインするための ID / パスワード）でログインします。

4. ログインが完了すると元の Web サイトにジャンプします。あとは学内での利用と同様に、Scopus で論文を検索し、ScienceDirect や Wiley Online Library など論文を読むことができます。

5. 今後の展開

学認で利用可能なサービスは、電子ジャーナルだけではなく、開発環境の提供や、ファイル共有サービスなどの様々な Web サービスがあります。今後は利用できるサービスを増やせるよう、作業を進めてきたいと思います。

ただし、1つのアカウントで利用可能なサービスが増えるに従って、パスワードが漏洩した場合のリスクが高くなります。利用者の方々にはこれまで以上にパスワード管理を厳重にしていただけだと思います。